



## PRESS RELEASE

2018年11月9日  
特定非営利活動法人フィールドアシスタント

### Indonesia Space Science Society (ISSS)との パートナーシップ協定を締結

特定非営利活動法人フィールドアシスタント(事務局:神奈川県横浜市、理事長:村上祐資)は9日、インドネシア・ジョグジャカルタ市を拠点とする Indonesia Space Science Society(以下、ISSS)とパートナーシップとなる「A+SPACE: Asian Space Platform for Analog Crew Engineering(以下、エイ・スペース)」を締結したことを発表しました。

このパートナーシップに則り、フィールドアシスタントとISSSは、今後お互いのプラットフォームを提供し、協働してアジア地域を拠点とした民間主導による模擬宇宙生活実験プロジェクトを展開していきます。建築やアートを核とするこの科学技術プラットフォームは、これまで宇宙開発の領域には例のなかった人類学的な視点から、宇宙生活を考えるプロジェクトを提案していきます。



#### 【ISSS について】

ISSS: Indonesia Space Science Society。宇宙科学をテーマに世界的に活躍するインドネシア出身のアーティスト、ベンザ・クリストを中心に、インドネシア国立航空宇宙研究所(LAPAN)の天文学者や科学者、エンジニア、芸術家たちが集まり、インドネシア・ジョグジャカルタ市を拠点に2015年に結成されたインドネシアにおける国内初の宇宙科学協会。2016年から毎年、ジョグジャカルタ市に国内外の宇宙関係者を招待し、国際SETIカンファレンスを開催。また同年にはシンガポールのアートサイエンスミュージアムにてNASAと共同で作品を発表するなど、国内外を問わず活動を展開している。

【フィールドアシスタントについて】

極地建築家・村上祐資を中心に、2018年に発足した特定非営利活動法人。極地とよばれる厳しい環境に生活する人々から学び、宇宙の視点から私たちの日常生活のあり方を再定義することを目的とする活動を展開。元南極観測船・初代「しらせ」を活用した、日本で初めての民間模擬宇宙生活施設を準備中。「極地から学ぶ、宇宙から考える。」をコンセプトとしたメディア「native」の発行元。

本件問い合わせ先:

特定非営利活動法人フィールドアシスタント

事務局広報担当栗原 090-1555-4336

[kurihara@fieldassistant.org](mailto:kurihara@fieldassistant.org)